

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0477
施設名	ベテル保育園
施設所在地	八王子市西寺方町716-2
法人名	社会福祉法人牧羊会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

空間遊び

<テーマの設定理由>

当園には、自然を生かした「原っぱ」の園庭がある。しかし、原っぱだけに、特に遮る様な空間はない。そこで、空間を仕切るような物（土管）を設置することで、外と内、広さや狭さ、解放感と閉塞感などを感じつつ、自分たちの心地よい空間を探究できればと、テーマ設定をした。

2. 活動スケジュール

6月：3回（導入、子どもたちの自由な活動）

7月：2回（発展、興味関心を広げる）

8月：1回（展開、空間に気づく）

9月：2回（探究、空間とは何か）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

大き目の土管2本を、広い原っぱに設置

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

まずは土管に触れたり、穴に入ったり、登ったりして、土管を体感することで、土管を知り、その上で、実は、空間が仕切られている事、広さや狭さがあることを知り、自分たちで空間を作れるように促す。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

子どもたちは、まず土管の大きさを認識、土管の上に上ること、土管から飛び降りることにチャレンジし始めた。その後、土管というコンクリートの性質（硬くて、冷たい：午前中は日陰だったため）事に気づき、特に暑い日には、涼みに土管を利用していった。その後、穴の中の狭さや、閉ざされた感覚を楽しみはじめ、空間を利用する姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちは、土管自身をまずは探究する（登ったり下りたり、丸くなっている感覚、コンクリートの材質）ところから始まった。やがて、土管自体を知り始めた子ども達は、穴の中の空間での遊びをはじめ、子どもの興味関心の流れを感じられた。穴の中での遊びは、遊ぶ子どもの人数や、自分の体と穴の大きさとの関係を体感で、理解しようとしている姿が見られた。さらに、遊びを展開できる活動となった。